2020年度の社会連携センタートピックス一覧

ボランティア活動報告 2020.09.17

調布市の学習支援における電通大生の活躍について

学習支援コーディネーターとして、調布市の子ども・若者総合支援事業(ここあ)、学習支援事業に携わる西牧たかね(にしまき たかね)さんから、調布市の学習支援における電通大牛の活躍について、ご報告をいただきました。

報告の中では、電通大生の活躍ぶりだけではなく、ここあや学習支援事業の概要や、学生ボランティアの役割、電通大生だから発揮できる強み、といった様々なことが詳しく 記されています。

ボランティア活動を志す方は是非ご一読いただき、ご興味がありましたら、どんな些細なことでも結構ですので、desk@ccr.uec.ac.jp までお問合せください!!

報告資料

| 【報告】電通大生の活躍

地域貢献活動報告 2020.10.29

第9回「調布駅前クリーン作戦」に参加しました!

令和2年10月16日(金)に開催された第9回「調布駅前クリーン作戦」に本学の職員2名が参加しました。

当活動は、調布市が毎年開催し、調布駅周辺をよりきれいな愛される場所とすることを目指し、市民や周辺の事業者とともに清掃活動を行うものです。

当日は好天に恵まれ、参加者は秋の朝の少し冷ややかな気候の中で、8時30分からの1時間、甲州街道から品川通りまでのバス通りを中心とした調布駅周辺の清掃を行いました。本学から参加した職員は、本学が位置する甲州街道周辺のゴミ拾いを重点的に行いました。





参考URL

第9回調布駅前クリーン作戦チラシ (PDF文書)

ボランティア活動報告 2020.11.05

情報理工学域・2年の名執 陸(なとり りく)さんから、ご自身のボランティア経験について、報告をいただきました。

ボランティア活動を志す方は是非ご一読いただき、ご興味がありましたら、どんな些細なことでも結構ですので、desk@ccr.uec.ac.jp までお問合せください!! >><mark>ボランティア登録はこちら</mark>(メールにてボランティアの最新情報をお届けします)

活動名称

障害をもつ方へのパソコン教室

報告者

名執 陸さん(情報理工学域・2年)

日時・場所

令和2年10月21日(水) 調布市希望の家

活動内容

調布市希望の家という調布市社会福祉協議会が運営している障がいをもつ方が通われている施設で、パソコン教室を開催しました。

特に募集があったわけではなく、普段私が学習支援に参加させていただいている「ここあ」(調布市子ども・若者総合支援事業)の職員さんから声をかけられ、電通大生によるパソコン教室があったら嬉しいとお話を受けたので、担当の方を紹介していただき見学を事前に行った上で、開催に至りました。

当日は4名の方とスタッフにご参加いただき、11月の自分の予定表を、パソコンを使って作る体験をしていただきました。

皆さんにご満足いただけたとのことで、1ヶ月に1、2回ほど定期的に開催させていただくことになりました。

次回の日程はまだ決まっていませんが、11月中に、今度はもう少し難易度を下げて名刺を作ることになりました。

活動後の感想・アドバイス

障がいを持つ方はずっと集中するのが苦手だという印象を持っていましたが、当日は2時間ほどやったにもかかわらず、最後まで集中して指示を聞いて作業してくださり、非常に驚きました。

さらに、かなり複雑で難しい内容だったのですが、4名とも完成させ、印刷してお渡しすることができました。やり方さえわかればどんな方だってできるということを再認識 しました。

障がい者の方々は普段パソコンを使うことは少ないようで、前々からパソコンを使って作業することに興味があったそうです。

参考URL

調布市社会福祉協議会 希望の家

>>パソコン教室 第2回の報告はこちら

地域貢献活動報告 2020.11.19

調布市「令和2年度喫煙マナーアップ・受動喫煙防止キャンペーン」に参加しました!

令和2年11月13日(金)に、調布市が開催する「令和2年度喫煙マナーアップ・受動喫煙防止キャンペーン」に本学の職員3名が参加しました。

当活動は、喫煙マナー向上の普及啓発及び受動喫煙防止を図るため、調布市が毎年開催しており、今回は11月13日(金)~19日(木)にかけて、市内京王線各駅駅頭において啓発・清掃活動を行うものです。

当日は好天に恵まれ、開会式に続いて、およそ30分間、参加者は喫煙マナーPRのためのたすきや腕章を着用し、甲州街道から品川通りまでの駅周辺のエリアの清掃を行いました。本学から参加した職員は、本学が位置する甲州街道までの駅北西エリアを重点的にタバコの吸い殻などのゴミ拾いを行いました。







ボランティア活動報告

2020.11.26

情報理工学域・2年の名執 陸(なとり りく)さんから、ご自身のボランティア経験について、報告をいただきました。

ボランティア活動を志す方は是非で一読いただき、で興味がありましたら、どんな些細なことでも結構ですので、desk@ccr.uec.ac.jp までお問合せください!! >>ボランティア登録はこちら(メールにてボランティアの最新情報をお届けします)

活動名称

障害をもつ方へのパソコン教室 第2回

報告者

名執 陸さん (情報理工学域・2年)

日時・場所

令和2年11月18日(水) 調布市希望の家

活動内容

今回は第2回ということで、5名の方に名刺を作る体験をしていただきました。使用ソフトは Microsoft Word で、テンプレートを編集しながら、印刷して切り取るところまで やっていただきました。

前回よりも難易度を下げた内容とはいえ、休憩を挟みながら2時間近く作業をしていただきましたが、受講者の方々は最後まで指示を聞いてくださいました。

テンプレートを利用したため、皆さん全く違ったデザインになりましたが、共通の作業はプロジェクターで私の画面を映してそれをもとに手を動かしてもらい、一人ひとり違うところは一人ずつお手伝いしたり、スタッフの方の手をお借りしたりして対応しました。

で自分のお名前や希望の家の住所・電話番号に加え、皆さんにインターネットを使って好きな画像を検索していただき、それを名刺の中に挿入していただきました。最終的に 5人の方とも素敵な名刺を完成されていました。

今後は毎月第3水曜日に実施することになりました。次回は12月16日で、年賀状をデザインする体験をしていただく予定です。

活動後の感想・アドバイス

前回と異なり一人ひとり形式や作業が違ったので、見回って対応するのが大変でした。

しかし、皆さんが楽しんで作業されていて、手順をお教えすることを通して私も非常に良い経験をさせていただきました。





出張科学教室開催報告 2020.12.17

守 裕也准教授(情報理工学研究科機械知能システム学専攻)から、以前から継続して活動している埼玉県松伏町科学教室について、報告がありました。

活動名称

埼玉県松伏町科学教室

講師(東京理科大・東京大と共同開催)

守 裕也 (電気通信大学 情報理工学研究科 准教授)・学生10名

福留 功二 (東京理科大学 工学部機械工学科 嘱託助教)・学生8名

亀谷 幸憲(東京大学 生産技術研究所 特任助教)

日時・場所

令和2年11月10日(火)3・4校時 松伏小学校 体育館

令和2年11月 18日 (水) 3・4校時 松伏第二小学校 多目的室

令和2年12月2日(水)3・4校時 金杉小学校 体育館

はじめに

令和2年11-12月の3日間において、本学、東京理科大、東京大の3大学が共同して埼玉県松伏町の小学5年生全員を対象とした科学教室を実施した。責任者である守が同教育委員会からの依頼を受け東京理科大学在籍時の平成29年度より行なっており、今年で通算4年目となる。

本科学教室は、講師による講話・実験実演、児童同士のディスカッション、児童自身による簡単な工作の三部より構成され、児童の科学への関心を刺激することを目的としている。大学における最先端の研究を小学生にわかりやすく紹介・実演し、これらの話題提供から児童がどのように感じ、また周囲との話し合いにより、考えが成熟していくプロセスを児童に体験させることを意図した内容としている。

運営は、3大学の研究者が主となり、同教育委員会担当者の強力なバックアップおよび学生のサポートにより行われた。学生に対しては、児童との交流を通して伝え方の改善など、大学内では得ることのできない教育効果も狙っている。 本年は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い科学教室も開催が危ぶまれたが、小学校側および大学側ともにマスク着用、手指消毒などの感染対策徹底した上での開催となった。

活動内容

各小学校において、以下の内容で実施した。

(1) 理科・科学全般に関する講話及び実験実演 (30分間)

大学における最先端の研究結果を小学生にわかりやすいよう簡単にした上で紹介した。「空気砲」による実演も実施し、児童の印象に残ることを狙った。今年度より加湿器を 用いた流れの可視化により、空気砲の様子をより詳細に観察させた。

(2) ディスカッション(30分間)

「生き物がみんなの身近で役に立つ!?みんなで考えよう!」をテーマに、講話から児童が学んだことを生かし、配布するワークシートに記述し、周囲とディスカッションさせた。児童自身のアイディアを周囲との共有・議論により成熟したものにするプロセスを経験させ、その大切さを学ぶことを狙った。

(3) 工作チャレンジ 「浮沈子 (ふちんし)を作ろう!」(30分間)

児童が持参したペットボトルを用いて「浮沈子」を作成し、その様子を観察する。またこの現象が何に使えるかを児童同士でディスカッションさせた。

活動後の感想

児童たちは目を輝かせて集中力を切らすことなく参加した印象を受けた。児童からの発言が多数あり、良いアイディアを出す児童もいた事から、本科学教室における目的は果たせたと考えている。

学生サポートも児童との交流を通じて「いかにわかりやすく教えるか」を心がけるようになっており、教育効果が得られたと考えられる。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い小学校では行事のほとんどが中止となっていることから、児童にとっては例年以上に印象深い科学教室であったと思われる。









ボランティア活動報告 2020.12.17

情報理工学域・2年の名執 陸(なとり りく)さんから、ご自身のボランティア経験について、報告をいただきました。 ボランティア活動を志す方は是非ご一読いただき、ご興味がありましたら、どんな些細なことでも結構ですので、desk@ccr.uec.ac.jp までお問合せください!! >>ボランティア登録はこちら(メールにてボランティアの最新情報をお届けします)

活動名称

障害をもつ方へのパソコン教室 第3回

報告者

名執 陸さん (情報理工学域・2年)

日時・場所

令和2年12月16日(水) 調布市希望の家

活動内容

第3回となる今回は、5名の方に年賀状を作る体験をしていただきました。

使用ソフトは前回同様 Microsoft Word で、テキストボックスを挿入して好きな文字を入れたり、インターネット上にある好きな画像を入れたりして作っていただきました。 今回は前回名刺を作成したときよりも自由度が高く、はがきの体裁を整え、テキストボックスや画像の挿入方法を一通りお教えした後は、自由に作っていただきました。一から自分で作る方もいらっしゃれば、インターネット上にあるテンプレートを見つけてそれをもとに作った方、自分のお写真を入れた方、さらには私が持って行った例と全く同じように作りたいという方もいて、5人とも全く違うデザインのものを完成されました。

次回の開催は来年の1月13日で、「防災マップを作る」又は「節分のポスターを作る」を予定しております。

活動後の感想・アドバイス

前回同様一人ひとりやるべきことが違うので、スタッフの方にも協力していただきながら見回って対応しました。

皆さん長時間私の説明を聞いてくださり、更には「こうしたいんだけどどうするの?」といった形で、中身のある質問をたくさんしていただき、非常に嬉しかったです。



参考URL

地域貢献活動報告 2020.12.17

岡本 一志准教授(情報理工学研究科情報学専攻)が、調布市立第七中学校で実施された「職業の話を聴く会」に、講師として参加しました。

活動名称

調布市立第七中学校「職業の話を聴く会」

講師

岡本 一志 (情報理工学研究科 情報学専攻 准教授)

日時・場所

令和2年10月30日(金) 調布市立第七中学校

活動内容

本会は、地域の事業所の方々を中学校に招いて職業に関する講演をしてもらい、生徒が様々な職業の概要をつかみ、将来なりたい職業について考えるきっかけとするという趣旨の下に調布市立第七中学校が実施するものです。

例年は、生徒が各事業所を訪問する職場体験が、今年度はコロナ禍のために実施できなくなったことを受けて、中学2年生4クラスを対象として、岡本准教授の講演が行われた 10月30日の他11月6日の2日間に行われました。

岡本准教授は、自身の経歴や研究内容(推薦システム「協調フィルタリング」に関する研究)の紹介と共に、大学教員という職業の仕事内容や勤務時間、必要資格、福利厚 生、ワークライフバランス、やりがいなどについて講演しました。

また、併せて、中学生・高校生時代にやっておくとよいことや、「学ぶこと」の意義に関する話など、未来ある中学生に向けたメッセージを送りました。

講演を聞いた生徒からは、「博士号を取り、大学教員の職に就くまでにはものすごい時間がかかることを知ってとても驚いた」、「『人間にしかできない仕事がある』という 言葉がとても印象に残った」、「将来自分も大学に行きたいと思っているので、ゼミの話や、大学内の話などが聞けてとても貴重な体験になった」などの感想が寄せられました。





出張科学教室開催報告 2020.12.24

中村 仁准教授(共通教育部自然科学部会)から、昨年に引き続き開催した小・中学生向け科学講座について、報告がありました。

活動名称

夏休み小・中学生科学講座「大津サイエンス☆ラボ〜磁石で動く謎の液体」

講師

中村 仁 (共通教育部自然科学部会 准教授)

日時・場所

令和2年8月14日(金) 14:00~16:00 神奈川県横須賀市大津コミュニティセンター

はじめに

神奈川県横須賀市大津コミュニティセンター(以下、大津コミセン)からの依頼で、昨年度に引き続き、同一の内容の小中学生向け科学講座を開催した。 新型コロナウィルス感染拡大の中で、対面での講座実施の可否の判断が難しく、zoomでの遠隔講座の可能性も探った(その場合は実験内容の大幅に変更することを前提として検討した)が、三密を避け、器具の消毒や、共同機器は講師または大津コミセンスタッフが操作を行うなどの対策をとり、予定通り対面で実施した。

活動テーマ

通常は高温焼成での酸化によって生成される黒錆の微粒子を、化学反応によって作製する。さらに界面活性剤と混合し磁性流体の作製を行う。この流体の不思議な特性について体験する。

以下のスケジュールで実施した。

13:00 - 準備・打合せ

14:00 - 14:15 パワーポイントを用いた講義

14:20 - 15:30 磁性流体の作製・観察

15:30 - 質問&片付け

価数の異なる鉄イオンを含む酸性水溶液をアルカリで中和していき、黒錆の微粒子を生成する。

小さな微粒子を作るためにゆっくりと反応を進め、化学反応実験の特徴である色の変化などを丁寧に観察しながら実験を行なった。

赤褐色の液体の色が段々濃くなり、最後は真っ黒の液体になった。

磁石につく沈殿物に界面活性剤を混ぜると粘性の高い液体になり、スパイク現象が観測出来た。

活動後の感想

以下、参加生徒のアンケートより(自由記述、原文のまま)。

- ・おもしろかったです。楽しかったです。ありがとうございました。
- ・少し難しかったけど最後はちゃんとできたのでたのしかった。
- ・とてもわかりやすかったです。
- ・見本みたいにギザギザにならなかったけど楽しかったです。
- ・久しぶりに実験ができておもしろかったです。

また、後日保護者の方からも以下の感想が寄せられた。

- ・いつもなら夏休みに入るころあちこちの講座のお知らせが配布されるのですが、ほとんどなくコミセン講座はとても良い機会でした。磁性流体という不思議な液体でずっと 遊んでいます。講座の様子を子どもから聞き、短い夏休みのいい思い出になりました。(中1女子母)
- ・なかなか積極的に参加しない子なのですが、思い切って申し込んで参加したら、面白かったといって帰ってきました。ご指導ありがとうございました。 (中1男子母)











地域貢献活動報告 2021.03.04

コスモ調布ヶ丘活き活きくらぶとの朝清掃ボランティア活動について

本学では、平成26年より、「コスモ調布ヶ丘活き活き(いきいき)くらぶ」の方々と合同で清掃活動を行っています。同くらぶは、本学に隣接するマンション「コスモ調布ヶ丘」にお住まいの方々をメンバーとするグループで、現在では、本活動の実施を本学に呼びかけた茂木秀樹氏をはじめ、大釜博美氏、金澤幸博氏(元本学総務課長)、小島輝信氏らが参加されています。

活動は、1月・2月・8月を除く年間を通して、毎週水曜日の8時00分〜8時30分の間に実施し、正門、中門、西門の主要な門の周りを中心に外周の清掃を行っています。 本学からは、奥浩昭名誉教授(社会連携センター運営委員)や佐藤寛之准教授、養老毅暁さん他有志の学生が参加し、活動を継続してきました。 活動開始当初から参加する 奥名誉教授は、本活動について、「茂木さんや大釜さんとは、本学と調布特別支援学校の連携活動を通して知り合いました。朝の活動を通し、マンションの人たちが親しい隣 人のように思えてきました。うれしいことに、缶やペットボトル、煙草の投げ棄てが目立って減っています。」と話します。

春の到来を控え、また3月から活動が再開されます。





【本活動に参加する学生・教職員の皆さんを募集しています!!】 ご興味のある方は desk@ccr.uec.ac.jpまでご連絡ください!!